

令和3年7月（第3回）役員会議事要旨

日時 令和3年7月27日（火）13:03～14:01

場所 （ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を利用）

出席者 8/8

榎野学長，高橋理事，舟橋理事，那須理事，前田理事，袖山理事，阿部理事，
青山理事

欠席者 なし

陪席者 青山監事，大原監事

○ 前回議事要旨の確認

令和3年6月（第2回）の議事要旨について，原案のとおり承認された。

○ 議 事

1 審議事項

（1）第4期中期目標・中期計画の素案等について

高橋理事から，資料1に基づき，標記素案の概要について説明があり，P5/28の3行目の「人類と地球の健康（Planetary Health）」について，昨今の豪雨災害等の地球環境の変化を見るにつけ人類だけに限定した「健康」ではなく，「地球と全生命体の健康（Planetary Health）」と修正することとして最終的に素案として提出することとしたい旨提案があった。続いて，外部理事から，冒頭にしっかりとした理念を記述されているが，印象として，①各施策の優先順位とメリハリが見えにくく，より優先順位の高い指標をもっとより上位階層で絞るなどの工夫があってもいいのではないかと，②第3期における目標に対する実績の見込みを踏まえ，第3期の当初に想定していた目標と比較しその成果をどう評価しているかが不明である旨の感想を持ったこと，また，③岡山大学の特徴と言えるような材料はかなり揃っているものと思われるが，一方で個別の項目に落とししていくと全部が並列的に並べられたものとなり，最終的に他大学との差別化が伝わりにくいように思慮されるため，もう少し魅力をうまく伝える方法があるのではないかと発言があり，高橋理事及び袖山理事から，今回の第4期中期目標計画の立案のしかたはこれまでと大幅に変わっており，文科省が示す大綱に示されている項目から目標を選ぶこととされ，国によってすでにほぼ決まっている形になっていること，その計画により目標を達成するために必要なこととしては必ず評価指標と評価指標に関する具体的な目標を記述する必要がある，必然的にある意味横並び的にならざるを得ないような作りとなっていることは否めないとの回答があった。

なお，高橋理事から，今後の予定としては，7月末に文部科学省に素案を提出した後，年末の国立大学法人評価委員会の審議後に，見直しの要請があれば対応し，1月末ごろ要請に対する対応について提出し，来年3月頃に文部科学省の認可を持って確定する予定となっていること，本会議での意見を基に軽微な修正等については学長に一任願いたい旨説明及び提案があり，審議の結果，承認された。また，学長から，外部理事に対しては，今後重要な事項については，もう少し早い時期に事前にお話しす

るようにしていきたい旨発言があった。

なお、青山監事から、大綱番号③の「④検証可能な評価指標」は非常に前向きな高い目標と思慮されるが、過去の実績を鑑みると達成は厳しいものと推察され、達成可能な数値目標と考えているかについて質問があり、袖山理事から、学内で十分に検討した結果として、現実的な目標を過去の実績等を踏まえて設定した数字である旨回答があった。

また、大原監事から、トップダウンだけではなく、特に大学のような各研究者の方が主体的に活動することが求められる組織において、どれだけ各部局の意見を聞き、また、どのようにして現場の声を吸い上げて作成したのか、SDGs に関して非常に抽象的な文言で中期目標のところに記載されており、より具体的な事項を現場の方がどう理解されているのかについてその経緯を含め質問があり、高橋理事から、教職員で年齢も超えた若手を集めた未来懇談会の開催し、SDGs の Award の制度を作り、SDGs アンバサダーの活用など組織の縦横の繋がりを活用しつつ、インナーブランディングに努め学内に浸透してきたものと理解しているが、この第4期の立案に際しては、各部局の意見を集約したものが第4期の経営方針になるとは考えていないため、まずは執行部で議論をして案を作成し、大学経営戦略会議及び理事の下の事務組織等で議論を重ねた上で案を修正し、適宜、教育研究評議会でも部長からの意見を伺いつつ策定作業を進めてきた旨回答があった。

(2) 岡山大学複合施設（共育共創コモンズ）の整備について

袖山理事から、資料2（取扱注意資料）に基づき、3月29日（月）開催の役員会において承認された複合施設について、コロナ禍における海外の木材需要増により国内で木材不足のため当該価格が大幅に高騰しているため、当初の事業費を大幅に変更することとしたい旨提案があり、審議の結果、承認された。なお、事業費の内訳については、別途各理事あてに連絡することとなった。

2 報告事項

(1) 寄付講座の設置について

那須理事から、資料7に基づき、令和3年10月1日付けで設置することとした大学院環境生命科学研究科の寄付講座「木質材料学講座」の概要について報告があり、設置予定の「林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン」の設備整備の見通しについて質疑応答があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、9月27日（月）13時00分から開催することとなった。

以上